

第17回山口県水球競技大会

1. 主催 (一財)山口県水泳連盟
2. 後援 山口県・(公財)山口県スポーツ協会・山口市教育委員会・山口市スポーツ協会
3. 主管 (一財)山口県水泳連盟 水球委員会
4. 期日 2025(令和7)年11月9日(日)
5. 会場 山口県立西京高等学校プール
6. 参加区分 (1) A区分 次のいずれかに該当するチーム。
 - ア. (公財)日本水泳連盟競技者登録[水球]完了者で構成されるチーム。ただし、小学生及び中学生女子のみで構成されるチームはB区分での参加とする。
 - イ. 大会主管者が選抜した者で構成されるチーム。
 - ウ. 大会主管者が招待した者で構成されるチーム。(2) B区分 上記(1)に該当しないチーム。
7. 参加資格
 - (1) 小学生以上であること。ただし、高校生以下の者は、次のいずれかの条件を満たすこと。
 - ア. 所属する学校の学校長が認める引率責任者の指導の下で、参加すること。
 - イ. 所属する(公財)日本水泳連盟登録団体の代表が認める引率責任者の指導の下で、参加すること。
 - ウ. 所属する(公財)日本スポーツ協会登録スポーツ少年団[水泳競技]の代表が認める引率責任者の指導の下で、参加すること。
 - (2) 参加チームは、混成・単独のいずれでもよい。混成チームの場合は任意に名称を設定してよい。
 - (3) 1チーム選手7名以上15名以内、監督1名、コーチ2名以内とする。
 - (4) 一人の者が同一区分の複数のチームで参加することはできない。ただし、5～6名の参加希望者に他のチームで参加する者を加えることで、7名のチームを編成できる場合には、大会主管者で協議して参加を認めることがある。同一区分の二つのチームで参加することが認められた者は、あらかじめ主参加と副参加のチームを申告しなければならない。そして、副参加のチームの試合では大会主管者が競技力を考慮して設定するハンディキャップを負わなければならない。また、その者が所属する二つのチームが対戦する試合は、大会主管者が用意するヘルパーを副参加のチームに加えて行う。
 - (5) 一人の者が区分の異なる二つのチームで参加することができる。ただし、その場合B区分の試合では、大会主管者が競技力を考慮して設定するハンディキャップを負わなければならない。
 - (6) 高校生及び一般の者がB区分で参加する場合には、大会主管者が競技力を考慮して設定するハンディキャップを負わなければならない。
 - (7) 申し込み多数で、日程内で競技を行うことが困難になると大会主管者が判断すれば、期日前に申し込みを締め切ることがある。その場合、区分ごとに先着順で参加を認める。
8. 競技方法 (公財)日本水泳連盟水球競技規則に準じて行う。ただし、次の通り変更して実施する。
 - (1) リーグ戦を行い、勝ち点制とし、勝ち3点、負け0点、引き分けの場合は、5名でのPSOを実施し、勝者に2点、敗者に1点を与え、合計勝ち点の多いチームを上位とする。勝ち点が同点の場合は、当該チーム同士の①勝ち点②得失点差で順位を決定する。それでも順位が決しない場合は同順位とし、次の順位を欠位とする。棄権は0-10で敗戦とする。
 - (2) 競技時間は、申し込みチーム数をふまえて大会主管者で協議し、監督者会議までに参加チームに連絡する。
 - (3) 競技に使用するボールは、A区分は(公財)日本水泳連盟一般男子公認球、B区分は(公財)日本水泳連盟ジュニア15歳以下公認球とする。ただし、監督同士の合意があれば、試合またはピリオドごとに、他の(公財)日本水泳連盟公認球を使用することができる。
 - (4) タイムアウトは、A区分のみ、1試合につき1回まで請求することができる。
 - (5) B区分については、上記(1)～(4)に加え、次の通り変更して実施する。
 - ア. オーバータイムは45秒とする。
 - イ. フリースローシュートを認めない。
 - ウ. 退水者の再入水は、クイック入水制とする。
 - (6) (公財)日本水泳連盟競技者登録[水球]をしたことがない小学生と中学生については、上記(1)～(5)に加え、次の通り変更して実施する。

